

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金

2016 年度 事業報告

目次

1. ごあいさつ	P2 - 3
2. 学校法人海陽学園（文化厚生事業助成先） 海陽中等教育学校 校長 中島 尚正 「伊藤忠兵衛基金様の文化厚生事業助成金に 心から感謝申し上げます」	P4
3. 沿革	P5
4. 事業活動報告（2015年度～2016年度）	P6
5. 寄附活動報告（2015年度～2016年度）	P7
6. その他報告事項	P8

一般財団法人 伊藤忠兵衛基金



代表理事 伊藤 勲 ごあいさつ

2012年4月1日に一般財団法人伊藤忠兵衛基金として新たなスタートを切ってから、本年で5年目を迎えます。

当財団は国家社会から蒙った恩恵に報いるため、昭和14年（1939年）、二代伊藤忠兵衛はじめ伊藤忠商事株式会社、丸紅株式会社がその基金を拠出して設立した財団であります。これまでも日本の文化興隆を目的として、学費補給・学術研究の助成・文化厚生事業の助成を対象とした支援を実施してまいりました。

今後は、より一層目的に沿った事業の充実を図るとともに運営管理体制を整備し、学術・文化の振興及び青少年の育成に寄与すべく努力してまいります。なにとぞ、皆様方の一層のご指導ご支援を賜りますよう、今後とも宜しくお願い申し上げます。



理事 住谷 栄之資 ごあいさつ

アイザック・ティグレットとピーター・モートンという2人のアメリカ人の青年が1971年にロンドンにハードロックカフェ（以後HRC）をオープンした。後にアメリカをはじめとして世界中に約150店舗を展開し、テーマレストランのはしりで、今も健在である。私はレストラン事業を手掛けている時にロサン

ゼルスハードロックカフェに出会い交渉の後に、前職のレストラン会社で日本の展開権を得て日本にオープンした。

HRCのテーマは言うまでもなく音楽であり、ハードロック、ブルース、ロックンロール等の音楽を店内に音量一杯で流し、オープン当初から若者を中心に大変な人気である。内装はアメリカンカジュアルでプレスリーやビートルズ等有名なミュージシャンが使っていたギターや衣装等の本物を展示して店の雰囲気盛り上げている。食事はアメリカ料理を提供し、ハンバーガーは大変有名である。

このコンセプトを開発したのはアイザック・ティグレットという男でもともと銀行家の家に育ったが、ある時思い立ってヒッピーとなり、世界を旅する事になり、立ち寄ったインドのムンバイでサイババという宗教家に出会った。サイババから大きな影響を受け、このHRCのコンセプトを開発出来たと告白している。この根底に流れるのがHRCのSAVE THE PLANET / LOVE ALL, SERVE ALL / ALL IS ONEというモットーである。

HRCは今から約半世紀前に開発されましたが、現在まさに求められているテーマだと思います。今地球上で自然災害、食糧危機、政治不安、人種間紛争、テロ等の問題が多発しています。21世紀はダイバーシティの時代と言われ、特にA. I. や IOT 等の科学技術は進化するでしょう。そして同時に人間には更に創造力、思考力、チャレンジスピリッツ、コミュニケーション力等が求められます。しかし、今の若者が育つ社会がそういう環境にあるのかどうか、皆様はどう思われますか？

一度大阪のハードロックカフェに行って何かヒントを感じて貰えれば幸甚です。場所はイトゥビルの一階です。実は16年程前にイトゥビルの伊藤社長に懇願してこの場所を提供して頂きました。感謝しています。



「伊藤忠兵衛基金様の文化厚生事業助成金に心から感謝申し上げます」

学校法人海陽学園海陽中等教育学校は、2006年（平成18年）に愛知県蒲郡市に開校以来、10年あまりが経ちました。この春には6期生が巣立ち、新しく12期生を迎え入れ、今年も新たな1ページをしっかりと刻んでいるところです。

本校は、2006年（平成18年）4月、愛知県蒲郡市に、トヨタ自動車、中部電力、JR東海、および日本の代表的な大企業のご支援のもと、次世代リーダー養成のひとつのモデルとして、6年間全寮制の中高一貫教育の男子校として開校いたしました。

以来、「将来の日本を牽引する、明るく希望に満ちた人材の育成」を建学の精神に掲げ、基礎学力の徹底修得をはじめ、高潔で明朗闊達な人材、学問の楽しさを知る教養豊かな人材、日本の伝統・文化を理解し、一方で国際性に富んだ人材の育成をめざし、支援企業より派遣いただいたフロアマスターと起居を共にする本校独自のユニークかつ効果的な寮生活を通じて各自の人間力を高めていくという、まさに「全人教育」の場として歩んで参りました。

これまでの卒業生の進路は、国内のみならず海外の大学も含めて多岐に渡っており、本校の教育の成果を象徴しているものと考えております。また、卒業生の中には、既に大学を卒業し、社会人となったものもおりますが、それぞれの道で、海陽時代に培った自ら学び、考え、行動する大切さや人間力を遺憾なく発揮し、人間味あふれる、逞しいリーダーに育ってくれるものと期待しております。

このように、まだ歴史の浅い本校が、日本の教育界に一定の役割を果たしつつあるのは、伊藤忠兵衛基金様のご助成があつてのことと考えており、心から感謝申し上げます。今後とも、基礎学力の修得と人間力の練成を柱とする全人教育を行い続けるという大きな使命を果たすべく、精一杯努力してまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻の程を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

沿革

昭和 14 年 5 月 30 日 文部省、厚生省から設立許可される。

設立発起人：

伊藤忠兵衛 伊藤竹之助 古川鐵次郎

設立時の理事：

平生鈆三郎（理事長）	村田省蔵（大阪商船社長）
松本丞治（前商工大臣）	岸本吉左衛門（前岸本商店社長）
後藤文夫（前総代理）	伊藤忠兵衛（伊藤忠商事社長）
楠本長三郎（大阪帝大総長）	伊藤竹之助（伊藤忠商事専務）
唐沢俊樹（前警保局長）	古川鐵次郎（丸紅専務）

昭和 14 年度の第 1 回事業：

文化事業助成費：	10,000 円を支出
厚生事業助成費：	10,000 円を支出
学術研究助成費 8 件：	13,000 円を支出
学費補給 20 名：	6,600 円を支出

昭和 20 年 12 月	植場鐵三が理事長に就任
昭和 39 年 3 月	伊藤茂八郎が理事長に就任
昭和 56 年 11 月	文部省、厚生省両省の所管から、文部省の専管法人に変更が許可され、同時に当会規約の一部変更の許可を取得
昭和 58 年 10 月	伊藤恭一が理事長に就任
平成 2 年 3 月	海外留学生制度を導入し、エル・サルバドルから留学生第 1 号を迎える。
平成 6 年 10 月	宇野収が理事長に就任
平成 12 年 12 月	伊藤勲が理事長に就任
平成 24 年 4 月	内閣府より「一般財団法人」の認可を受け、財団法人を伊藤忠兵衛基金へ名称変更

事業活動報告

	(2015 年度実績)	(2016 年度実績)
学術研究事業助成	6,000,000 円	6,000,000 円
学費の補助	6,000,000 円	5,500,000 円
文化厚生事業助成	12,600,000 円	14,600,000 円
合計	24,600,000 円	26,100,000 円

2016 年（事業内訳）

・学術研究事業助成

『対象 若手研究者及び先生（講師・准教授・助教等）』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学、各校 3 名計 12 名に
1 人あたり 50 万円で計 600 万円を助成。

・学費補給

『対象 博士課程後期の学生』

名古屋大学・京都大学・大阪大学・神戸大学の 4 大学、計 11 名に
1 人あたり 50 万円で計 550 万円を助成。

・文化厚生事業助成

甲南小学校 『国際理解教育に対する助成』	: 500 万円
滋賀大学 『伊藤忠兵衛の経営活動に関する総合研究』	: 50 万円
甲南大学 『バイオナノテクノロジー研究に対する助成』	: 400 万円
甲南大学 『留学生に対する奨学金』	: 200 万円
海陽学園 『教育振興に関する寄附』	: 300 万円
公益財団法人豊郷済美会	: 10 万円

総合計 1,460 万円

寄附活動報告

	(2015 年度実績)	(2016 年度実績)
寄附	1,000,000 円	1,000,000 円

2012 年より

- ・ 寄附先（宮城県 石巻市立大川小学校）50 万円

経緯

3 月 白井理事より「東日本大震災では、石巻市内だけで、6000 人近くが、死亡・行方不明になり、中でも、全校児童 108 人のうち 68 人が一瞬にして命を落とし、6 人が行方不明になった市立大川小学校に対し、50 万円を 5 年間継続して寄附をしたらどうか」との提案があり、全理事・評議員から承認をいただく。

2015 年より

- ・ 寄附先（一般社団法人 KIP 知日派国際人育成プログラム）50 万円

経緯

3 月 伊藤公一理事より「2008 年に発足した KIP は東京大学・一ツ橋大学・慶応大学等の日本人学生を対象に、日本のことを知り、考え、そして海外に発信出来る力の育成及びリーダーシップの育成等、次世代育成を目的とする一般社団法人。活動内容は、平均月 1～3 回の討論会や地方研修、年 1 回海外の大学にて討論会。参加者は学生中心であり、海外研修費用の捻出が難しいため寄附をしたらどうか」との提案があり、理事会・評議員会で承認をいただく。

その他報告事項

第6回目 奨学金受給者との懇親会を開催。

日時：2016年8月25日 17時30分～20時

会場：リーガロイヤルホテル大阪 皇家龍鳳

目的：当財団の活動内容を理解していただき、また、役員と奨学金受給者の交流、及び、奨学金受給者同士の交流を深めること。